柴田産業 近畿工業製 スーパーシュレッダーを導入

非鉄を中心に展開する九州有数の総合リサイクル企業、柴田産業（本社＝福岡県久留米市、柴田浩社長）はこのほど大牟田エコリサイクルセンター（福岡県大牟田市）に近畿工業製スーパーシュレッダーを導入し、モーター等の処理を強化する。中国の環境規制に伴う雑品や処理困難物の国内還流を背景に、小型家電リサイクルを手掛ける同社に対する業界内でのニーズや期待は一層高まりをみせる。設備増強による省人化と作業効率向上、そして高品質なリサイクルを追求し、更なる再資源化事業にも着手する。

九州エリア有数の総合リサイクル企業

更なる高品位リサイクルを目指し、スーパーシュレッダーを導入

柴田産業は、昭和29年（1954年）、久留米市で創業。非鉄スクラップを中心に、鉄スクラップ、レアメタル、廃プラ、ガラスくずなどの様々な産業廃棄物中間処理も手掛ける。また九州・沖縄に拠点を持つ企業としてはエリア有数の小型家電リサイクル法認定事業者（第20号）として、使用済み小型電子機器等を各工場で回収し、破砕・切断・圧縮・選別まで大型設備を用いてリサイクル処理している。また小型家電については約80行政との取引があり、今後も拡充していく方針だ。さらに今後大量に廃棄が見込まれる太陽光パネルの回収や光ファイバーケーブルなどのリサイクルも手掛けており、様々なスクラップ・廃棄物に対応、処理能力は月間3万㌧以上を誇る。

同社は平成5年（1993年）に一条リサイクルセンター（福岡県筑後市）、平成16年（2004年）に大牟田エコリサイクルセンター（福岡県大牟田市）を開設。特に大牟田エコリサイクルセンターは大牟田市が環境にやさしいまちづくりを推進する「大牟田エコタウン」内にあり、敷地面積は同社最大の約3万2500㎡。9棟の建屋に数々の大型リサイクル設備を完備している同社の中枢を担う貴金属リサイクルをメインとする大型工場である。

同センターの保有設備は、大型シュレッダープラント、破砕機4台、ナゲットプラント3基、ふるい選別機、水流選別機、リニア選別機、大型ベーラーマシン、ハンマークラッシャー、移動式シャーリングマシン、放射線検知器、トラックスケール（40㌧・70㌧）など。

同センターは、大牟田市から佐賀県大川市までを結ぶ有明海沿岸道路・健老ICと隣接しており、さらに九州自動車道・南関ICから約20分と九州全域へのアクセスもバツグンのロケーションにある。この充実した設備を誇る同センターに、このほど近畿工業製「スーパーシュレッダー」が加わった。

同機は、処理対象物を直接投入でき、素材の分離連続処理が可能。雑品やモーター類などの複合物を事前に分解する必要がない上に、過粉砕を防止し破砕負荷も低減。独自技術により素材の絡みを抑え、品質の良い単一素材の生産性に優れている。柴田社長は「モーターやトランスを適切に破砕処理するために導入した」と述べ、「非常に破砕処理に優れている」と性能を評価し、「今後も国内循環を進め、外部購入を視野に月間500㌧の処理を目指す」と更なる処理能力および作業効率向上に期待を寄せる。

また同センターでは、今後も設備の拡充を進める方針で、海外製の選別ラインや2次破砕用の機械なども導入予定だ。更なる高品質なリサイクルを構築する理想の工場を完成させる。

近畿工業製スーパーシュレッダー

未来を見据えた新しい挑戦

効率化と高品質の両立

同社はリサイクル原料の品質向上に全力を注いでいる。用途に応じて機械化と手解体・手選別を両立し、細かい作業にこだわりながら、ダストを徹底的に除去。国内外の様々な需要家が求める品質に仕上げ、高品位なリサイクルを手掛けながら、再生資源の更なる付加価値向上を追求している。

一方、最新鋭の機械を惜しみなく導入し、大型破砕機や選別ラインを拡充することで、作業効率向上だけでなく社員の作業量負担軽減にも配慮している。同社は3拠点でパート含め約80名が従事しており、障がい者雇用も積極的に推進している。

また従業員には専門性の高い仕事を求め、社員教育の充実により、スペシャリストの育成を目指している。設備投資に加えて、既存機械のメンテナンスを怠らないことで、従業員の労働環境改善や安全性確保に努めている。さらに騒音防止など近隣の環境負荷低減にも精力的に取り組んでいる。

今後は中国の環境規制に伴う雑品スクラップ等の処理困難物に加えて、一般廃棄物、産業廃棄物などの処理も強化し、廃プラのリサイクルにも着手する予定で、柴田社長は「良い機械があれば、どんどん導入していきたい」と省人化・効率化のため設備投資を重ねながら、あらゆる選択肢を常に模索していく方針だ。そして「たくさんの方達による協力で、これまでやってこれたことに本当に感謝している。今後も顧客や取引先、社員とのチームワークを大事にし、地元企業として地域に社会貢献できるように尽力していきたい」と述べた。

時代のニーズに合った戦略を展開し、効率化と高品質の両立を目指していく中、さらに全社員が一丸となることでまた新たな付加価値が誕生する。同社の未来を見据えた新しい挑戦は続く。

大牟田エコリサイクルセンター

柴田産業株式会社

本　社　福岡県久留米市梅満町1246-1
TEL 0942-32-3857　FAX 0942-37-2077
ホームページ　http://www.shibata-3r.co.jp/
代表者　代表取締役　柴田　浩
資本金　1,200万円
創　業　昭和29年（1954年）11月
法人設立　昭和46年（1971年）3月
従業員数　52名
許　可　産業廃棄物処理業（福岡県・久留米市・大牟田市）
産業廃棄物収集運搬業
特別管理産業廃棄物収集運搬業
（九州全県・全政令都市・岡山県・広島県・大阪府・山口県・香川県）
久留米市一般廃棄物（ごみ）処理業
一般建設業　福岡県知事　許可(般-9)第90935号

工　場
■本社リサイクルセンター
福岡県久留米市梅満町1246-1
TEL（0942)32-3857　FAX（0942)37-2077
■一条総合リサイクルセンター
福岡県筑後市大字一条字人形原1428-5
TEL（0942)52-4895　FAX（0942)52-8844
■大牟田エコリサイクルセンター
福岡県大牟田市健老町443（大牟田エコタウン内）
TEL（0944)41-1341　FAX（0944)41-1348